

環境社会貢献活動

ANAグループは、「人と地球を考える」をテーマに、「私の青空」と称した「地球環境を大切にする心の輪」を広げる活動に取り組んでいます。

森づくり

ANAグループでは、ANAグループの航空機が就航する国内50空港を対象として、その周辺における森づくりの活動を、2004年から10カ年計画で進めています。2010年3月期は、新たに長崎、能登の2カ所の森で、さらに7カ所の森でも継続して森づくりを実施し、地域のボランティアの方々とのコミュニケーションを図りながら「木を植え」「森を育てる」活動を積極的に展開しました。

中でも米子では、アジアナ航空との協働CSR活動として、2008年に引き続き鳥取県境港市の弓ヶ浜半島にて、マツクイムシの被害に遭ってしまった白砂青松の海岸の再生を願って、地元ボランティアの皆様、アジアナ航空の参加者を含む総勢250名で抵抗性クロマツの苗木750本を植栽しました。

ANAの社有林には「千歳空港・らんこしの森」と「羽田空港・天城湯ヶ島の森」がありますが、2010年3月期の林野庁の通知では、1人の人間が1年間に排出するCO₂量に換算して「らんこしの森」では23人分、「天城湯ヶ島の森」では25人分を吸収しているという評価を受けています。

また、植林活動だけでなく、京都大学フィールド科学教育研究センターから講師をお招きし、森づくり、環境、生態系の保全について学ぶフィールドセミナー「青空塾」も開講しています。

2009年3月には、林野庁の推進する国民運動「美しい森林づくり全国推進会議」にも参画表明しており、ANAグループは今後も継続して森づくりを行い、「持続可能かつ次世代に引き継ぐ」環境活動を推進していきます。

◆ 2010年3月期の森づくりの歩み

	森の名称	関連空港	回数	内容
5月17日	阿蘇くまもと空港の森	熊本空港	2回目	植林
5月30日	天正少年使節の森	長崎空港	1回目	植林
6月14日	白神の森	大館能代空港	4回目	植林
6月27日	らんこしの森	千歳空港	6回目	下草刈り
7月 5日	千葉若葉の森	成田空港	2回目	下草刈り
7月11日	糸原海岸の森	大分空港	4回目	下草刈り
8月 2日	アサヒの森	広島空港	5回目	環境教育
10月10日	アカコッコの森	三宅島空港	台風で中止	植林
10月24日	きりこの森	能登空港	1回目	植林
3月27日	ハマヒルガオの森	米子空港	2回目	植林



「能登空港・きりこの森」にてアテ(ヒノキアスナロ)の苗木を植栽



「米子空港・ハマヒルガオの森」で記念撮影

◆ 全国50空港周辺での森づくりマップ



「千歳空港・らんこしの森」

「私の青空」国際環境絵本コンクール

2003年にスタートした“私の青空”国際環境絵本コンクールは、次世代を担う子供たちに「環境・自然・生き物・資源を大切にする」心を伝えるとともに「家族や友人同士で環境について話し合う」機会を提供することなどを目的として、絵本原稿を公募し優秀作を顕彰するものです。ANAグループが主催し、環境省・社団法人日本ユネスコ協会連盟後援の下、毎年実施してきました。

応募作品は作家C・Wニコル氏が委員長を務める審査委員会にて選考され、大賞ほか優秀作を決定し、ANA SKY WEBなどにて発表されます。

2009年の第7回同コンクールには、日本国内および海外7カ国から366点の応募があり、大賞には、熊本県在住赤崎一雄氏の作品「桜の青い空(Sakura's Blue Sky)」が選ばれました。この作品は小冊子として日英2カ国語併記にて5万部出版され、主にANAグループの航空機内ならびに各支店や空港でご希望のお客様にお配りしています。



大賞作品
「桜の青い空」



チーム美らサンゴ

現在、沖縄のサンゴは海水温の上昇による白化現象やオニヒトデの大量発生による被害などを受け、壊滅的な状況にあります。ANAグループは沖縄県内外の企業とともに、産官一体型プロジェクト「チーム美らサンゴ」を結成、2004年より沖縄県恩納村のサンゴ群集の回復・保護活動を行っています。

日本サンゴ礁学会が定めたガイドラインに沿って、恩納村海域に生息するサンゴをドナーとして採取し、陸上施設で養殖したサンゴの苗をボランティアダイバーの手によって植えつけており、これまでに1,500本以上を植えつけてき

ました。2009年も春と秋に2回ずつ植えつけを行い、159名のボランティアが参加しました。

この継続的な保全活動が実を結び、植えつけた小さなサンゴが自生して大きく育ち、次々と産卵を行っています。活動を通して、「美ら海を大切にする心」をより多くの人々と共有していきたいと考えています。



チーム美らサンゴ Webサイト

<http://www.tyurasango.com/>



次世代人材への環境社会教育支援

前期に引き続き、佐賀県立武雄高校との共催で、生徒が自ら考える課題探究型の「環境社会体験プログラム」を実施しました。これは、次世代を担う高校生に対して、ANAグループ社員のサポートの下、身近な自然環境の再発見や地域活性化を考える機会と、企業・社会人とのふれあいの場を提供するものです。

2009年は、武雄高校1年生～2年生・20名が、佐賀県・武雄市の豊かな観光資源や環境保全活動などについて約半年間の取材・調査を実施し、11月3日に武雄市内にて研究発表会を開催しました。

